



まちづくりの中心となる新庁舎の議場

段差が少なく、ユニバーサルデザインを取り入れた議場は、自然光が差し込み、明るく、入りやすい雰囲気となっています。

12月定例会

11月30日～12月17日

主な内容

- 特集 誌上de議会報告会 …… 2
- 定例会・議案の内容 …… 4
- 議案質疑 …… 5
- 一般質問 …… 6
- 請願審査結果 …… 17
- 委員会審査 …… 18
- 議会活動状況 …… 19
- 討論・決議・意見書 …… 20
- 審議結果 …… 21
- 議会の動き …… 22
- トピックス …… 22
- 調査特別委員会 …… 23

誌上 de 議会 報告会

都市環境委員会

●コロナ禍で働く人たちを支援！

- ・「Withコロナ事業継続応援補助金」 感染防止対策の一部経費を
- ・「感染拡大防止協力金」 営業時間短縮・休業要請などへの協力に対して→市単独！
- ・「コロナウイルス関連融資 事業者応援給付金」 対象融資を受けた事業者に

●新庁舎・市民交流活動センター「マルタス」 建設工事を終える！

- ・マルタスは365日、午前9時から午後9時半まで開館。
- ・キッズスペースには絵本や知育玩具、ボードゲームも充実。
- ・新時代の協働、市民活動に期待！

今後の動き

外構工事・現庁舎の解体工事
3月22日開庁、オープン間近!!



総務委員会

●コロナ禍の市民を支援！

- ・特別定額給付金 全市民に10万円
- ・市では職員が昼夜を問わずてんてこまい。
国のデジタル化など、非常時の課題も浮き彫りに！

●ボートレースまるがめ 初の無観客開催！

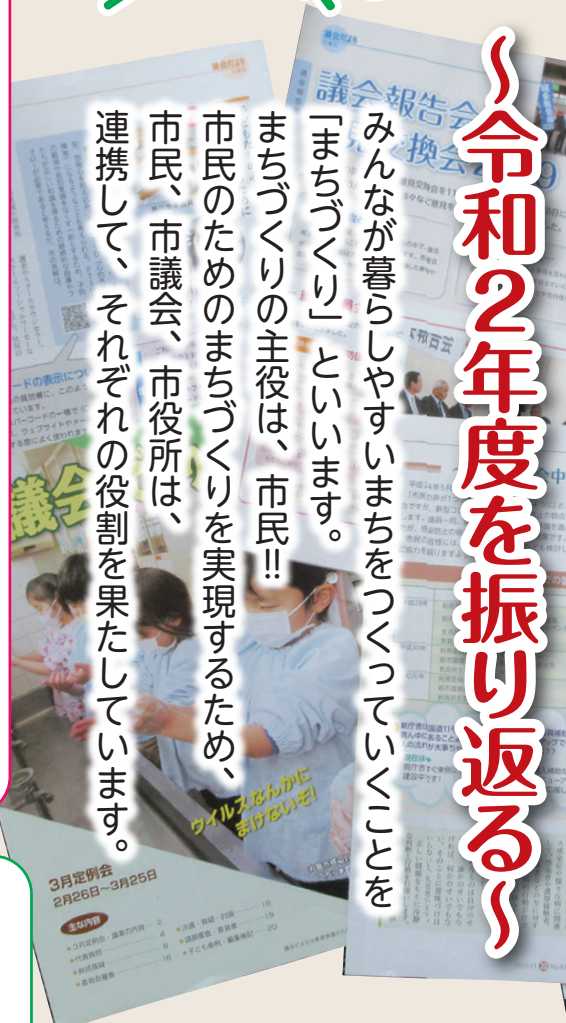
- ・本場での収益が6割台に激減↘↘
- ・電話投票（インターネット投票を含む）は約2倍増！！
- ・市の一般会計へ19億円の繰出し 🍵🍵

今後の動き

北広場を整備中
ROKU来賓室棟のオープン間近！

コロナのため、
やむをえず

令和2年度を振り返る



教育民生委員会

●コロナ禍の子育てを支援！

- ・コロナ対策子育て応援給付金 児童1人当たり4万円
ひとり親世帯は児童1人当たりプラス5万円→市単独！
- ・子育て世帯への臨時特別給付金 児童1人当たり1万円
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金を2回
児童1人当たり（第1子）5万円（第2子以降）3万円

●教育のICT化 一歩前へ！

- ・市内小中学校で児童生徒用パソコンを1人1台整備。
- ・臨時休業時も子どもたちの学びを止めない環境に！
- ・予算は6億4625万2千円

今後の課題

教員のICTスキルの向上
パソコンなど設備の維持管理費

広報広聴委員会では、
初のオンライン会議を試行。
議会だよりも、
第75号から始まった全ページ
フルカラー化など、
読みやすい紙面づくりを
目指しています！

12月定例会

11月30日～12月17日(18日間)

● 11月30日

・議案第96号、97号、103号～113号

Ⅱ 提案理由の説明

・議案第98号～102号

Ⅱ 提案理由の説明・質疑・討論・採決

● 12月2日

・議案第96号、97号、103号～113号

Ⅱ 議案質疑の後、各常任委員会に付託

● 3、4、7、8日

・一般質問

● 9日

・教育民生委員会

・都市環境委員会

● 10日

・総務委員会

● 17日

・議案第96号、97号、103号～113号

Ⅱ 委員長報告・討論・採決

・議案第114号

Ⅱ 提案理由の説明・質疑・討論・採決

・市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会の報告

Ⅱ 委員長報告・討論・採決

Ⅱ 委員長報告・討論・採決

議案の内容

▼議案第96号 一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出それぞれ84万8千円を増額し、総額を670億8109万4千円とする。

▼議案第97号 モーターボート競走事業会計補正予算(第3号)

収益的収入255億円、収益的支出223億8082万9千円をそれぞれ増額する。

▼議案第98号 職員の給与に関する条例の一部改正

▼議案第99号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

▼議案第100号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼議案第101号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼議案第102号 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(98号～102号) 人事院勧告に準拠するなど、職員、一般職の任期付き職員、特別職や議員

の期末手当について改正を行う。

▼議案第103号 税外収入金の延滞金等徴収及び滞納処分に関する条例等の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第104号 国民健康保険条例の一部改正

地方税法等の一部改正による個人所得課税の見直しに伴い、軽減判定所得基準に関する所要の改正を行う。

▼議案第105号 人権を尊重し多様性を認め合うまちを実現する条例の制定

人権に関する施策の基本事項について、人権擁護条例の全部を改正する。

▼議案第106号 体育施設設置条例の一部改正

体育施設等の移設や廃止に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第107号 工事請負変更契約の締結(市庁舎等複合施設新築工事)

契約金額の増額について、議会の議決を求める(追加契約金額6050万円)。

▼議案第108号 工事請負変更契約の締結(市庁舎等複合施設新築に伴う電気設備工事)

契約金額の増額について、議会の議決を求める（追加契約金額2761万円）。

▼議案第109号 工事請負変更契約の締結（市庁舎等複合施設新築に伴う空調設備設置工事）

契約金額の増額について、議会の議決を求める（追加契約金額280万5千円）。

▼議案第110号 工事請負変更契約の締結（市庁舎等複合施設新築に伴う給排水設備工事）

契約金額の増額について、議会の議決を求める（追加契約金額517万円）。

▼議案第111号 指定管理者の指定（広島ディスプレイセンター）

▼議案第112号 指定管理者の指定（飯野コミュニティセンター）

▼議案第113号 指定管理者の指定（生涯学習センター）
（111号～113号）各施設における指定管理者の指定について、議会の議決を求める。

▼議案第114号 一般会計補正予算（第11号）

歳入歳出それぞれ1億184万円を増額し、総額を671億8293万4千円とする。

議案質疑

議案の疑問点について、2名の議員が聞きました。

市庁舎等新築工事 遅れの責任は

Q 国方議員 市庁舎等新築工事が当初の予定よりも遅れているのはなぜか。また、工期延長に伴う追加経費や処罰について、市の考えは。

A 都市整備部長 工期延長は、オリンピック関連の整備や京阪神の物流施設整備など、全国でビッグプロジェクトが集中し、市庁舎に採用していた建築資材が品薄になったことによるものである。窓口部門の形状変更やガラス部分の補強など、今回9608万5千円の増額となる。全国的な市場の動向は予見することが難しく、施工業者の責任に帰すことのできない事由であることから、損害金などの請求や処罰を科すことは予定していない。

生涯学習センターの 指定管理

Q 中谷議員 今年度末で閉館予定の生涯学習センター

が、令和3年12月まで運営されることになった経緯は。また、同館3階にある児童館はどうなるのか。

A 市民生活部長 生涯学習センター解体後は、生涯学習クラブなどの活動場所として、現在の市庁舎南館を改修して利用する予定である。市庁舎等新築工事の工期の延長が、庁舎南館の改修時期にも影響するため、児童館を含めて、引き続き令和3年12月まで運営するよう見直したものである。



職員・議員等の 期末手当に 修正案

12月定例会初日、議案第98号から102号の5議案に対し、横田隼人議員をはじめ3名の議員から修正案が提出されました。
期末手当0・05カ月分の減額措置を行う改正案に対し、0・1カ月分の減額を求めるものです。

なお、この修正案に関する賛否はP21「賛否が分かれた議案等の審議結果」をご覧ください。



一般質問

19人の議員が市の考えを問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

真鍋 順穂

- ① 梶市政のレガシー
- ② 飯山町山ノ谷交差点周辺の公共施設整備計画

香川 勝

- ① 主権者教育
- ② 高齢化社会
- ③ 断らない相談支援（重層的支援体制整備）

横川 重行

- ① ひきこもり・不登校
- ② 児童館
- ③ 待機児童の解消と保育士確保
- ④ こども医療の無償化
- ⑤ 学校給食

武田 孝三

- ① 中期財政フレーム
- ② 市職員の人件費
- ③ 市の臨時職員
- ④ ポートレースまるがめ

水本 徹雄

- ① 聖池の水門
- ② 四国水族館
- ③ 市立大学・病院
- ④ アフターコロナの丸亀

竹田 英司

- ① 子育て支援
- ② 農業支援
- ③ 高齢者移動支援
- ④ 専門職員の適正配置

横田 隼人

- ① 新年度予算編成方針（市単独事業・人事院勧告・事業の休廃止等・新市民会館・城乾こども園・市民交流活動センター）

大西 浩

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 廃棄物行政

福部 正人

- ① 非常用電源の購入助成
- ② 脱炭素社会
- ③ 日本遺産
- ④ LEDビジョン
- ⑤ 有資格者の役職名
- ⑥ 届け出拳式

大前 誠治

- ① 高齢者の運転免許自主返納
- ② 市長のリーダーシップと政策、実績や現状
- ③ 市の財政

国方 功夫

- ① 副市長の海外視察研修
- ② ミモカ美術振興財団
- ③ 綾歌森林公園
- ④ 提案型協働事業
- ⑤ 城東小学校
- ⑥ 市長マニフェスト

三宅 真弓

- ① 児童虐待と家庭内暴力
- ② 敬老記念品

加藤 正員

- ① 梶市政の相談体制
- ② 高齢者移動手段

松浦 正武

- ① 学校図書館
- ② コミュニティバス

内田 俊英

- ① コミュニケーション支援

東 由美

- ① WithコロナとAfterコロナに向けて（市民生活・事業者・移住や企業誘致・

施設使用料）

- ② まちづくり（城下町・環境美化）

中谷真裕美

- ① コロナ禍から市民を守る取り組みを（コロナ対策・コミュニティバス・傷病手当金）
- ② 市庁舎等解体時のアスベスト飛散対策

神田 泰孝

- ① ニッカリ青江展
- ② 公衆トイレのネーミングライツ
- ③ 点字ブロック
- ④ HPVワクチン
- ⑤ 国勢調査

岡田 剛

- ① コロナ禍での現状と課題（差別意識、排除、忌避・生活困窮者支援・島しょ部の感染対策）

飛沫防止対策としてアクリル板を設置しており、発言時にはマスクを外しています。

山ノ谷交差点 周辺整備は

Q



真鍋順穂議員

飯山町山ノ谷交差点周辺は、半日に1万9千台もの車両が往来し、450人を超える児童や多くの市民が行き交う中、地域の交通の要衝である。隣接する大東川は度々氾濫しており、早期整備が必要である。現在の状況と今後の整備予定は。



飯山町山ノ谷交差点周辺

主権者教育 その取り組みは

Q



香川 勝 議員

豊かで暮らしやすいまちをつくるには、行政の力だけでなく、市民の支えが必要である。主体的に政治に参加する意識を広め、若者の参加や投票率向上を目指すだけでなく、身近な問題から社会問題まで、年代や環境に応じた題材により考える力、判断する力、行動していく力を育てることが大切である。主権者教育について、市の取り組みは。



市議会では、議場見学も受け入れています

A

都市整備部長 現在、県では、富士見橋の橋梁工事の予備設計を行っており、具体的な工事計画は決定していない。また、各道路の右折レーンや自転車歩行者道の整備も、富士見橋の整備に付随して決定さ

れるため、現段階では明示できない。周辺地域には建物も多く、影響が広範囲に及ぶため、県に対し、快適で安全・安心な通行につながる工事計画の早期提示を求めている。

A

総務部長 主権者教育の目標は、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していく新しい主権者像であると考えている。一例では、成人式の際のパフレッツに選挙啓発に関する

ことを掲載したり、模擬投票を実施するほか、3か月健診やお城まつり、まるがめ婆娑羅まつりなど、各種行事を通じて、啓発活動を行っている。引き続き、先進自治体の事例も参考にしながら検討していく。

ひきこもりと居場所づくり



横川重行議員

ひきこもりは、様々な要因がある。自宅以外の生活の場が長期にわたり失われている状態であり、いじめや辛い経験から、社会生活が営みにくくなる場合もあるが、特別な事象ではなく、居場所づくりも求められる。未然防止を含め、現在の相談体制はどうなっているのか。



A

健康福祉部長 ひきこも

りに関する専門的な相談体制として、県のひきこもり地域支援センター「アンダンテ」や中讃保健福祉事務所、就労に向けた支援機関「さぬき若者サポートステーション」などがある。市で相談を受けた場合は、

県の専門相談機関や各関係機関、専門医師などと協議し、支援に努めている。未然防止策としては、支援開始時に家族や支援者との関係性を構築することが、早期回復に至るきっかけになることが少なからずあるものと考えている。



県では自立支援マップも

財政危機 その認識は



武田孝三議員

今年度は、昨年度と比べ約4億6千万円の税収減となり、約46億円の財源不足が見込まれている。令和6年度までの5年間では約176億円にも及ぶ財源不足となっている。新型コロナウイルス対策により、財政調整基金の取崩しや地域産業への影響も危惧されるが、基金残高は令和2年度の約258億円に対し、令和10年度はマイナス6788万円と想定されている。今後の住民サービスは維持できるのか。



A

総務部長 指摘の数字は、今後の見通しとし

て、現在の状況から考えられる最悪の事態を想定したものであり、実際にはこうした財源不足を圧縮できるよう歳出削減を図っていく必要がある。令和2年



市民サービスを継続、向上させるために

度予算ではさらなる歳出抑制に取り組むほか、今後、毎年度の収支予測などを監視しながら、最悪の事態に至らないよう、持続可能で安定した財政運営を目指していく。

逆転の発想で市立大学、 市民病院を丸亀に



水本徹雄議員

人口集中の現状から、人口の分散は喫緊の課題であることがコロナショックで明らかとなった。他市町と連携し、協働を視野に入れた、地域に密着した市立大学の創設について、市の考えは。また、地域住民の健康の維持・増進のため、行政と住民、企業などが連携して取り組む、総合的な医療活動を行う市民病院の新設について、市の見解は。



地域で支え合う市立大学・市民病院を

A

市長 若者の地元定着や他都市からの人材流入を目指す地方創生の観点からも、地域での高等教育機関の存在は大きな役割を果たすものである。学校法人などと協議を進めているが、未だその実現には至

っていない。

医療機関については、本市には香川労災病院をはじめ、民間の医療機関が数多く、島しょ部にも市直営の診療所を設置しており、一定程度の充足を見ていると認識している。

子育て世帯に さらなる支援を



竹田英司議員

ゼロ歳から2歳児の育児は、経済的負担が大きい。育児ノイローゼなどにならないように、子どもと過ごす時間、買い物や美容院に行くなど、安らぎの時間を持てるような支援も必要である。月額2万円補助した場合、対象者1136人、年間2億7千2百万円の予算で支給できるが、どうか。



頑張る子育て世代を救え

A

健康福祉部長 ゼロ歳から2歳児に対する市独自の支援として、ベビーカーなど子育て応援育児用品の無償貸し出しや、子育てホームヘルプサービス、今年度からは多子世帯対象の出産祝金など、各種事業に

より子育て世帯の経済的負担の軽減に努めている。給付金の支給は財政負担も大きく、現時点では困難であるが、引き続き様々な施策に取り組み、子育てするなら丸亀でと思ってもらえるよう支援に努めていきたい。

財政危機 市長の覚悟は

Q



横田隼人議員

コロナ禍で地域経済が大きく落ち込み、今後5年間で約176億円もの財源不足が見込まれている。来年度の予算編成方針では、危機感を持って取り組み、市単独事業を今年度比2割以上削減することとしているが、昨年のマイナス5%シリング、一昨年のゼロシリングは、達成できていないのではないのか。今回の市単独事業2割以上削減について、市長には強い意志と、政治家としての覚悟があるのか。



コロナ禍の地域経済 市長に覚悟は

A

市長 来年度の予算編成では、経常的なものを含め既存の事業を見直し、再編を図る。これまでにない厳しい歳入環境であるため、既存の市単独事業は、前年度当初予算と比

べ、2割以上削減することとしている。優先度の高い事業をヒアリングを通して見極め、限られた財源の中で、豊かで暮らしやすいまちの実現につなげていきたい。

コロナ禍 脱炭素社会へ

Q



大西 浩 議員

国は、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量の差を実質ゼロにする方針を示した。コロナ禍で生活様式が変わる中、グリーンリカバリーへの変革の時と考えるが、市の取り組みは。



今求められる脱炭素社会への転換

A

市民生活部長 グリーンリカバリーの推進には、一人一人が生活様式を見直し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を削減することが重要である。本市でも、新庁舎では地熱利用システムや太陽光発電システムなど、積極的に低炭素設備や再生可能エネルギーの導入に取り組んでいる。低

炭素社会の実現に向け、引き続き広報紙やホームページなどを通じて広く周知・啓発していくとともに、来年度見直しを予定している第2次環境基本計画の策定過程においても、本市におけるグリーンリカバリーの考えや、ゼロカーボンに近づける取り組みなどを組み込んだ検討を進めていきたい。

日本遺産認定 島しょ部の環境整備を



福部正人議員

昨年、せとうち備讃諸島石の島ストーリーが日本遺産に認定された。多度津町では、北前船の寄港地として、当時の様子や北前船の魅力をわかりやすく展示していた。日本遺産認定を機に、観光客の利便性なども考慮し、公衆トイレの設置や案内所スペースの拡充など、島しょ部の環境整備に取り組んでどうか。



広島島の観光案内所がある船客待合所

A

市長 現在、日本遺産に
関連する地区をはじめ、

島の要所にはほぼ公衆トイレ
が配置されており、トイレの設
置場所の周知や洋式化などへの
改修を検討したい。また、案内
所スペースの拡充については、
江の浦港待合所で観光案内さ

れている方々からも、旧広島コ

ミュニティセンターの活用など
提案がある。老朽化や高潮被害
などの課題もあり、施設の維持
管理や利用方法について、地元
との協議のうえ、検討していき
たい。

コミュニティバス 交通不便地域の解消は



大前誠治議員

高齢者の運転免許返納制度が浸透しつつあるが、地方ではその代わりとなる支援が十分ではない。本市ではコミュニティバス利用者の利便性向上や交通不便地域の解消に向け、今後どのような対策を講じるのか。



需要が高まる丸亀コミュニティバス

A

都市整備部長 コミュニ
ティバスについては、利

用者の利便性向上に向け、待合
環境の改善など快適な利用環境
の整備や、情報発信の強化のほ
か、キャッシュレス決済など新
技術の導入を検討する。運行時
間、本数、路線などは、家用
車での移動を前提としない高齢

者や学生などを対象に、市町
間での連携を含め、ネットワー

ク強化を目指し、見直しを行
いたい。また、交通不便地域の解
消に向けては、デマンド型交通
や地域が主体となる移動サービ
スなど、地域の実情に合った交
通手段の研究を進めていく。

副市長の海外出張 説明を明確に

Q



国方功夫議員



中国 大連市への出張は

前回に引き続き、副市長の中国・大連出張について伺う。先日、相手方事業者に確認すると、同社から要請した事実はないとの回答を受けた。副市長の出張後の復命書や報告書は、既に廃棄されているようだが、他の海外出張時の要請に比べて、直前であるなど疑問点が多い。分かりやすく説明を。



A

副市長 丸亀商工会議所からの要請文書である。

造船会社の事情について、私は

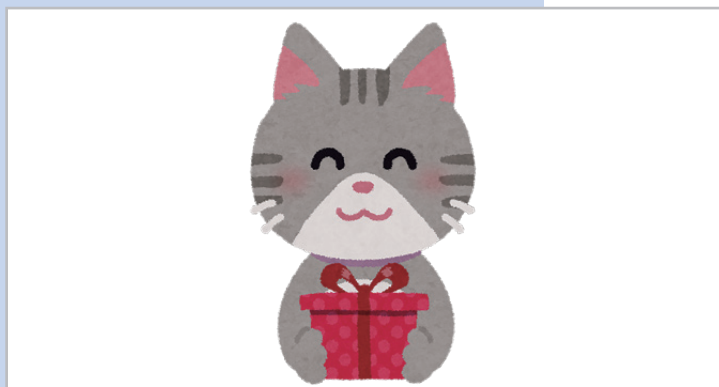
知り得る立場にはなく、コメントは控えたい。

「送る」都合より 「贈る」気持ちで

Q



三宅真弓議員



贈る気持ちを大切に

今年の敬老記念品には、市民からの批判的な声強い。送られてきたのは、季節外れのプラスチック製うちわと、若者がコンサートで振り回すようなタオル。行政は、常に市民の立場に立ち、費用対効果を考え、施策を行わなければならない。今回の対象者1万2347名、事業費総額1256万3567円について、市の認識は。



A

健康福祉部長 敬老記念品の選定は、非接触型で

渡せるものを優先し、その調達や封詰めなど、時間的猶予を踏まえ、担当課で行った。選定基準としては、市ゆかりの品であ

ること、誰でも日常的に使える日用品であること、郵送などで送ることのできるものの3点である。意見については今後の参考としたい。

高齢者の移動支援に 地域ボランティアの力を

Q



加藤正員議員



ボランティア運転の今後は

高齢者が通院や買物に困っているという声をよく聞く。現在、市内では4つのコミュニティでボランティア運転による移動支援を行っているが、事故対応や人員確保など課題もある。現在策定中の地域公共交通計画での位置づけは、どのようなものか。また、それを踏まえて来年度以降の役割は、どのようなになるのか。



A

健康福祉部長 来年度以降

降の方向性としては、高齢者等移動手段確保モデル事業の必要性や有効性が認められたため、来年度の本格実施に向けて検討を行っている。先般開催

した地域包括ケアシステム推進協議会でも、継続していくうえでの課題として、保障が必要ではないかと意見をいただいた。改善点については機会を捉え、国等へ働きかけを行っていく。

学校司書 処遇の改善は

Q



松浦正武議員



子どもたちを支える学校司書

学校司書は、学校図書館を利用して学習や発表をする多くの子どもたちを支えている。学校司書の処遇改善は進んでいるのか。教職員の働き方改革に合わせて、短期的、または一時的な雇用から長期的な正規職員化が求められているが、市の考えは。



A

教育長 学校司書は、今年度から市会計年度任用

職員としての雇用となる。昨年度と比べ、時給の増額や期末手当などの支給により、報酬における処遇は改善されている。安定した雇用を確保することは重

要であるが、市の正規職員としての雇用は、本市定員適正化計画から、現状としては難しい。さらなる処遇の改善について、国や県教委に対し、賃金の補助や県費負担による学校司書の配置など要望を続けていく。

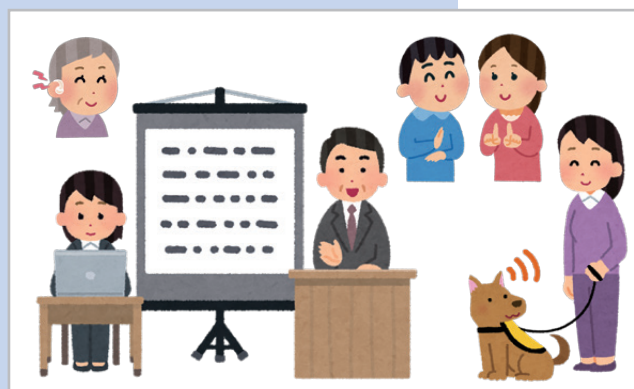
聴覚障がい者支援 アプリの活用は

Q



内田俊英議員

相手の発言をタブレットなどで瞬時に活字化できるアプリができ、特に中途失聴・難聴者のコミュニケーションの環境が格段に向上している。市の窓口でこのような支援を行う場合、タブレットなどの端末機の準備が必要だが、このアプリは、個人のスマートフォンで利用できる。市の窓口業務に限らず、支援に有益であると考えるが、いかがか。



いろいろな形の支援があります

A

健康福祉部長 窓口での

専用アプリを活用した対応やコミュニケーションボードなどの導入活用も検討したい。また、各課の窓口対応でも、筆談などの手段が十分に生かせるよう研修などを充実したい。

「本市における障がいを理由とする差別的解消の推進に関する職員対応要領」に基づき、来庁者の手続きがスムーズに行えるよう、合理的配慮の提供に一層努めたい。

城下町・丸亀 きれいなまちへ

Q



東 由美 議員

こんぴら湊から丸亀城までの区域は、歩いて楽しめる空間であるが、たばこの吸い殻やごみのポイ捨てが後を絶たない。本市まちをきれいにする条例が機能していないのではないか。他市では喫煙禁止区域を設けて対処している。本市でも環境美化重点区域を設け、駅から丸亀城までの区域を喫煙禁止区域としてはどうか。



城下町らしい環境美化を

A

市長 県内では、高松市

が一部地域を喫煙禁止区域に規定し、路上表示や巡回などをを行い、たばこのポイ捨ての抑制などに一定の効果が得られていると聞く。本市でも港から丸亀城にかけては、駅や公園、観光施設のほか、商業施設等も

多く建ち並び、多数の人が行き交う空間となっている。ごみのない美しいまちの実現は、本市のイメージアップ、観光振興やまちの活性化につながることから、環境美化重点区域や喫煙禁止区域の指定に向け、具体的に検討していきたい。

自営業者に 傷病手当を



中谷真裕美議員

コロナウイルスに感染し、働けない期間の生活保障として、「傷病手当」が国民健康保険加入者にも支給されるが、その対象は被雇用者のみで、自営業者やフリーランスは除外されている。この不公平を補おうと、個人事業主へも「傷病手当金」を支給できるよう、独自に制度化する自治体も増えている。本市でも独自の制度をつくり、同じ国保税を納めながら、命に関わる問題で支援の格差が生じないようにしてほしい。



自営業者やフリーランスにも支援を

A 市長 自営業者などについて、所得補償としての妥当な金額算出が難しいなど課題があり、国保「傷病手当金」の対象は被雇用者のみとなつて

いる。全国市長会も国に対し、支給対象の拡大を図るよう要望している。国による拡充などが図られたときには、本市としても迅速かつ適切に対応したい。

子宮頸がん予防 市民へのアプローチは



神田泰孝議員

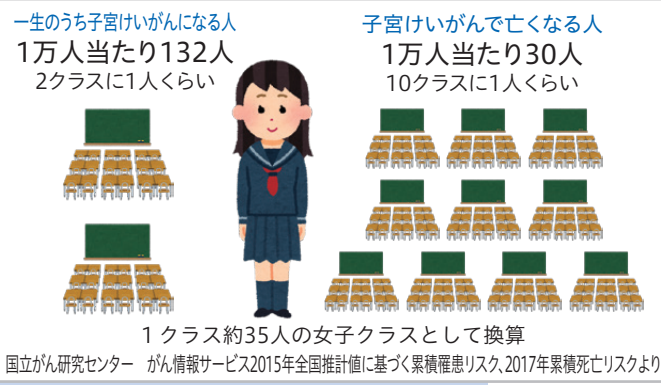
数年前、HPVワクチンの安全性を懸念する報道があり、現在、自治体からの積極的な勧奨はされていないが、定期接種としての公費補助は継続している。厚生労働省は、多様な症状がワクチン接種後特有のものではなく、因果関係は確認されていないとの見解である。子どもたちの未来のために、性別を問わず、有益な情報を周知するべきではないか。

※HPVワクチン＝高い確率で子宮頸がんなどを予防できるワクチン



A 健康福祉部長 現在、市広報紙やホームページに掲載している。新年度からは、年度内に定期接種期限の開始と終了を迎える小学6年生と16歳

の女子や保護者に対し、ワクチンに関する絵リーフレットを送付する予定である。提案を踏まえ、男子への周知も進めたい。



情報は大切です

社会不安が生み出す コロナ禍の差別



岡田 剛 議員



社会不安から生まれる差別があります

コロナ禍で世界中が閉塞感に包まれ、これまでの行動変化を余儀なくされた。市では、コロナ関連の偏見や差別、排除をどのように検知しようとしているのか。これまでに確認されたものはあったのか。社会不安に起因する部落差別をはじめ、障がい者や子ども、女性、外国人などに対する差別事象の状況は。



A

市長 市に寄せられたコロナ差別の相談はない。インターネット上の差別書き込みは、県と連携してサイト管理者に削除要請したものが103件（うちコロナ関連36件）、そのうち実際に削除したものが9

件（うちコロナ関連4件）あった。その他の差別事象についても、市への相談や訴えはない。引き続き様々な人権課題に関し、相談窓口の周知や被害者への迅速な支援に努めていく。

QRコードの表示

各議員の質問欄に、このような画像を表示しています。

これはバーコードの一種で〈QRコード〉と呼ばれ、ウェブサイトやメールアドレスを配布する際によく使われます。

バーコードリーダー対応のスマートフォンなどでこのQRコードを撮影すると、質問する議員の姿を簡単に動画でご覧いただくことができます。

使い方

ご利用の機種によって異なりますが、以下のとおりです。

詳しい使用方法是、ご利用のスマートフォンの取扱説明書等をご確認ください。

1. スマートフォンでQRコードを読み取ります。
バーコードに対応しているスマートフォンでバーコードリーダーを起動し、QRコードを撮影します。

2. URLや情報が表示されます。
表示されたアドレスをクリックすると、議員の質問を動画で見ることができます。

傍聴自粛のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会では当分の間、本会議や委員会の傍聴自粛をお願いしています。

なお、傍聴を希望される方は、マスクの着用や入場時の手指消毒など、感染症対策にご協力

のうえ、発熱や倦怠感・咳など、体調不良のある場合は、傍聴をお控えください。

※ソーシャルディスタンス確保のため、入場を制限する場合がありますので、ご了承ください。

請願審査結果

請願第7号

日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願

香川県原爆被害者の会

会長 好井 敏彦

原水爆禁止香川県協議会

筆頭代表理事 岩部 乃之

請願の趣旨

核兵器禁止条約の発効を機に、これまでの政府の態度を改めるべきである。唯一の戦争被爆国として、条約に参加・調印・批准し、核兵器の全面禁止に向け真剣に取り組むよう、国への意見書提出を求める。

議会の意見・審査結果

不採択

陳情第1号

自治会場に係る上下水道料金の助成を求める陳情

坊自治会 会長 高橋 等

陳情の趣旨

自治会運営は、会員数の減少など年々厳しくなっている。活

動の継続、発展のため、負担軽減として、集会場の上下水道料金の助成を求める。

●議会の意見・審査結果
不採択

請願・陳情の取り扱いについて

請願・陳情は、市民の意見や要望を市政に反映させるために設けられている皆さんの権利です。

市議会へ請願・陳情を提出しようとする方は、次の要領で作成し、議会事務局へ提出してください(複写したものではなく原本)。

●件名、趣旨、理由、提出年月日、住所、氏名(法人や団体の場合は、名称及び代表者氏名)を書いて押印し、あて先は丸亀市議会議長としてください。

また、請願(陳情)者が2人以上のときは、代表者を決めてください。

●請願には、1人以上の紹介議員を必要とし、その署名・押印が必要です(陳情には紹介議員は不要)。

●請願・陳情の提出者は、議会で趣旨を述べることが出来ます。

●場所等を明示する場合は、必要に応じて略図を添付してください。

●用紙はA4版です。

※随時受け付けていますが、定例会開会の5日前までに提出いただいたものは、原則としてその定例会中に審査されます。

(内 容)

(趣旨)
(理由)
.....
年 月 日
住所
氏名 ①
丸亀市議会議長
〇〇〇〇様

(表 紙)

〇〇に関する請願
(陳情)

紹介議員 氏 名 ①

(陳情には紹介議員は
必要ありません。)

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中継ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ
トップ左列

●丸亀市議会

→ インターネット中継(外部リンク)

クリック





委員会審査

各委員会の議案審査では、次のような質疑応答がありました。

教育民生委員会

■審査した議案

議案第96号中の関係部分、
議案第111号

主な質疑

Q 委員 史跡塩飽勤番所跡や笠島まち並保存センターなどの指定管理料が増額しているが、積算の根拠は。

A 教育部 新型コロナウイルス感染症の影響により、入館料の大幅な減少が生じたものである。平成29、30年度の平均値をもとに、入館料の減少分から光熱水費など経費の減少分を差し引いた額を増額変更した。史跡塩飽勤番所跡は、入館料が33万3460円減少、経費が1万9035円減少のため、差し引き約32万円増額となる。笠島まち並保存センターなどは、入館料が19万3470円減少、経費が1329円減少のため、差し引き約20万円増額となる。

委員会審査

Q 委員 綾歌健康づくりふれあいセンター指定管理委託料について、休業要請期間と職員の雇用状況は。

A 教育部 3月4日から5月末まで休業した。その間は有給休暇を利用しながら、交代で館内外の点検や清掃などの業務を行ったため、職員の雇用は維持している。

審査結果

採決の結果、付託された2議案は、すべて原案を可決した。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第96号中の関係部分、
議案第106号、110号、
112号、113号、陳情
第1号

主な質疑

Q 委員 市民提案型コロナ対策

補助金の上限額を20万円と設定した根拠は。

A 市民生活部 コロナ禍の状況下、多くの団体が様々な対策に取り組みながら活動している。

より多くの団体が利用でき、幅広い支援につながるような内容にした。

Q 委員 新庁舎南棟の防犯カメラ設備等が取りやめとなっているが、施設の防犯・警備に対する認識は。

A 都市整備部 市民交流活動センターは、指定管理者の管理により防犯カメラ設備など、施設の防犯・警備に当たることとしている。

Q 委員 Withコロナ事業継続応援補助金は、個人事業主も対象になるのか。また、今回の予算額以上の申請があった場合の対応は。

A 産業文化部 個人事業主も市民であれば、補助の対象となる。今後の申請状況を踏まえ、対象者を支援できるように予算の増額も検討したい。

審査結果

採決の結果、付託された8議

案はすべて原案を可決した。陳情は不採択とした。

総務委員会

■審査した議案

議案第96号中の関係部分、議案第97号、103号、105号、請願第7号

主な質疑

Q委員 リュースタイプの感染防止衣を整備する理由と、防止衣の現状は。

A消防本部 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染防止衣の需要は高まっている。今後、入手が困難な状況が想定されるため、繰り返し使用できるリュース品を確保したい。現在、不織布の防止衣を使用しており、約400衣保有している。

Q委員 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金9億7812万9千円の交付に伴う基金の状況は。

A総務部 今回の国からの交付金に伴い、今年度末の基金残額見込みは、財政調整基金が約38億5千万円、合併振興基金が約5億6百万円である。

Q委員 新型コロナウイルス感染症により、レース中止や無観客開催を余儀なくされたが、会計への影響は。

Aボートレース事業局 無観客開催時は清掃や警備業務等の見直しを行い、感染症対策に係る経費を調整してきた。収入面では、電話投票が好調であり、今回、営業収益を255億円増額するものである。

Q委員 広告宣伝費中、全国ボートレース甲子園の概要は。

Aボートレース事業局 全国47都道府県からの代表選手47名と施行者推薦5名を加えた52名で競うレースである。令和3年7月に本場で開催予定であり、その広告宣伝費である。

審査結果

採決の結果、付託された5議案はすべて原案を可決した。請願は不採択とした。

令和2年中の議会活動状況

本会議・委員会等

区 分		定例会	臨時会	委員会	協議会	合計	区 分		合計
招 集 回 数	招 集 回 数	4	2			6	そ の 他	全 員 協 議 会	14
	会 期 の べ 日 数	101	2			103		議 会 運 営 委 員 会	23
	会 議 日 数	27	2			29		各 派 会 長 会	20
常任委員会	総 務 委 員 会			5	8	13		広 報 広 聴 委 員 会	14
	教 育 民 生 委 員 会			5	9	14			
	都 市 環 境 委 員 会			5	9	14			
	市庁舎等整備特別委員会			8		8			
	丸亀城復旧復興特別委員会			7		7			
	市民会館整備特別委員会			5		5			
	市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会			22		22			
特別委員会				12		12			
予 算 ・ 決 算 特 別 委 員 会				12		12			

討論

採決の前に、議案に対する賛成×反対の意思を表明します。

議案第98号

《反対》 横田 隼人

理由 コロナ禍の現状に鑑み、

少しでも市民サービスに資するよう、議員や職員が身を切る努力を行うべきである。

《反対》 中谷真裕美

理由 コロナ禍で、職員は市民のために懸命に尽力されており、減額するべきでない。

《賛成》 大西 浩

理由 今回の人事院勧告は、コロナ禍を踏まえたものである。職員も一勤労者であり、制度上、妥当である。

議案第99号～102号

《反対》 横田 隼人

理由 98号と同じ。

《賛成》 中谷真裕美

理由 地域の労働者の賃金引き下げにもつながる職員とは性質が異なるものである。市長をはじめ特別職、任期付き職員や議員の期末手当は、減額するべきである。

《賛成》 大西 浩

理由 98号と同じ。

決議案第3号 可決

定例会最終日に審議され、可決しました。

新型コロナウイルスワクチンに係る接種体制等の構築を求める決議

今日、新型コロナウイルスによる感染症は、世界的規模で広がりを続け、今なお終息の時期等が見通せない状況下にある。

我が国においても、感染者数は増加傾向にあり、感染予防と経済の両立など、私たちの様々な活動とのバランスが非常に難しいことを痛感しているところである。このような先が見通せない状況は、私たちの暮らしに大きな影を落とし、多くの人が不安の中、生活している。

こうした中、過日、海外でのワクチン接種という報道にも接し、我が国でも近いうちに認可手続を経て、承認されると思われる。ワクチン接種がアフターコロナの新しい時代の到来に向けた一助となることを期待するものである。

しかしながら、現在、当該情報に触れる機会は十分ではなく、市民には不安感とともに、今後の本市の地域医療等への影響が懸念されるところである。

議案第107号～110号

《反対》 国方 功夫

理由 新庁舎等新築工事の工期延長は、建築工事の遅れによるものであり、本体工事の請負契約業者の対応に起因するものである。

請願第7号 《賛成》 中谷真裕美

理由 唯一の被爆国として、核兵器禁止条約を推進するべきである。

意見書案第4号 可決・提出

同じく可決し、関係機関に提出しました。

新型コロナウイルスワクチンに係る接種体制等の構築を求める意見書

国並びに県におかれては、自治体の役割を十分踏まえ、迅速かつ適切な情報提供に努める中、安全性の確保と併せて、国民の不安解消に当たる必要がある。

る。財政面はもちろんのこと、ワクチン接種体制や流通体制の構築に向けた実効性ある支援を行うよう、特段の措置を強く要望する。

令和2年12月定例会

賛否が分かれた議案等の審議結果

議員名 ()内は所属会派		議案名																									
		審議結果	1 武田 孝三(志政会)	2 竹田 英司(真誠会)	3 東 由美(会派無所属)	4 中谷 真裕美(会派無所属)	5 神田 泰孝(会派無所属)	6 岡田 剛(会派無所属)	7 大西 浩(市民クラブ)	8 香川 勝(志政会)	9 三宅 真弓(真誠会)	10 川田 匡文(志政会)	11 真鍋 順穂(志政会)	12 松永 恭二(志政会)	13 多田 光廣(真誠会)	14 横田 隼人(志政会)	15 小橋 清信(志政会)	16 横川 重行(市民クラブ)	17 松浦 正武(市民クラブ)	18 加藤 正員(市民クラブ)	19 山本 直久(志政会)	20 大前 誠治(志政会)	21 福部 正人(公明党)	22 内田 俊英(公明党)	23 水本 徹雄(市民の声)	24 国方 功夫(市民の声)	25 片山 圭之(市民の声)
議案第98号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	×	×	×
	同上(修正案)	否決	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		×	×	×	○	○	○
議案第99号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	×	×	×
	同上(修正案)	否決	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		×	×	×	○	○	○
議案第100号	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○		○	○	○	×	×	×
	同上(修正案)	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	○	○	○
議案第101号	モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○		○	○	○	×	×	×
	同上(修正案)	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	○	○	○
議案第102号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○		○	○	○	×	×	×
	同上(修正案)	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	○	○	○
議案第107号	工事請負変更契約の締結について(市庁舎等複合施設新築工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×
議案第108号	同上(電気設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×
議案第109号	同上(空調設備設置工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×
議案第110号	同上(給排水設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×
請願第7号	日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○		×	×	×	×	×	×
市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会の報告		可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○		○	×	×	×	—	×

議長のため採決に参加せず

○は賛成、×は反対、—は除斥した者です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

議会の動き 10・11・12月

10月	2日	各派会長会
	5日	本会議（最終日） 全員協議会 教育民生委員会協議会
	20日	市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会
	21日	各派会長会
	26日	市庁舎等整備特別委員会
	28日	教育民生委員会協議会
11月	30日	議会運営委員会
	13日	市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会
	16日	市庁舎等整備特別委員会
	19日	教育民生委員会協議会 議会運営委員会
	24日	都市環境委員会協議会
	26日	市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会
12月	30日	議会運営委員会 本会議

30日	各派会長会
2～4日	本会議
7日	本会議
8日	本会議 広報広聴委員会
9日	教育民生委員会 教育民生委員会協議会 都市環境委員会 都市環境委員会協議会
10日	総務委員会 総務委員会協議会 市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会
11日	議会運営委員会 広報広聴委員会
15日	市民会館整備特別委員会
16日	丸亀城復旧復興特別委員会
17日	議会運営委員会 本会議

他市視察受け入れ

他市の議員、職員が本市の施策を視察しました。

10月 8日	愛知県春日井市 「スポーツを通したまちづくり」
10月21日	愛知県西尾市 「川西地区の防災まちづくり活動」
10月29日	岡山県津山市 「丸亀城の石垣修復プロジェクト」
11月11日	千葉県市川市 「川西地区の防災まちづくり活動」
11月16日	愛媛県大洲市 「川西地区の防災まちづくり活動」
12月17日	愛知県蒲郡市 「スポーツ振興」 「ボートレースまるがめ」

議会トピックス

完成間近の新議場に潜入(!?)
一足先に少しだけ公開します!



階段が少なく、フラットな印象



議長席はスッキリした雰囲気



通路は明るく、市街地が目の前に

新会派の設立

10月19日に新しく会派が結成されました。

真誠会（3人）

（〇会長）

〇三宅 真弓
竹田 英司

多田 光廣

議員の辞職

1月31日付で松永恭二議員が辞職しました。

市議会議員の不当要求疑惑等に関する調査特別委員会 調査報告

期間 3月25日～12月10日

【概要】

■委員
8名

■委員会開催
22回

■出頭を求めた証人
13人

■経費（会議録作成）
19万325円

■調査事項・結果
副市長からの内部告発に関する次の事項

①特別職の報酬引き上げに関する不当要求疑惑

・4対3で肯定

②市職員に対するパワハラ疑惑

・4対3で肯定

人事への不当要求疑惑

・全員一致で否定

③中讃広域行政事務組合人事に対する不当要求疑惑

・全員一致で否定

④市庁舎等整備特別委員会委員

長の立場を利用した不当要求疑惑及びパワハラ疑惑

・全員一致で否定

⑤ミモカ美術振興財団代表理事に関する人事への不当要求疑惑

・全員一致で否定

■当該議員への意見

私たち議員は、市民からの負託を受け、意見や要望を市政に届け、課題や問題を指摘し、解決を促すなど、多大な役割を担っているが、その過程において、不当要求行為やハラスメント行為は、決してあってはならないものである。当該議員には、今回の調査結果を重く受けとめ、猛省を求めるものである。

■議会への意見

今回の事案は、一議員の言動ではあるが、市議会に投げかけられた問題としても捉える必要がある。私たち議員と市職員の立場において、様々な議論を交わす上でも、誤解を招かないよう

う言動には十分留意し、常に議員全員が、市民の代表として、市民からの負託を受けた責務を認識のうえ、模範となる言動を心がける必要がある。法令を遵守することはもちろんのこと、高い倫理観を持ち、自らを厳しく律し、理事者と適切な関係を保たなければならない。今回の問題を、議員一人一人が真摯に受けとめ、襟を正していかなければならない。今後、二度とこうした事案が発生することのないように、政治倫理上の観点等を踏まえた議論と具体的な取り組みを求めるものである。

■市への意見

不当要求行為への対応は、本市法令遵守推進条例に明記されているとおり、未然防止を含め、市長をはじめ管理監督者など理事者の責務である。しかしながら、今回、規定にある委員会での調査や措置など、条例上の対応が不十分であり、今後は公平公正な職務の執行を確保するよう、条例に基づく迅速かつ適切な対応が求められる。また、ハラスメント行為に関しても、職員の雇用・労働環境を守るべき

責任は市長にあり、理事者にはハラスメント行為を許さない環境づくりが求められる。職員が市民のために十分働くことができる健全な労働環境を保持するため、必要な対策を講じることが求められるものである。市においては、業務の遂行に当たり、法令に基づく本市職員としての責務の認識を徹底するよう求める。

■議会・市への意見

今後の再発防止に向けた取り組みと併せて、市民との信頼関係の再構築に当たるよう強く求める。

■調査報告

可決

この調査報告に関する賛否については、P21「賛否が分かれた議案等の審議結果」をご覧ください。

■討論

《反対》

水本 徹雄

理由 市の手続きや対応自体が問われるべきで、当該議員に猛省を求める内容ではない。

《賛成》

大西 浩

理由 告発後、10カ月にも及ぶ調査は、的確と判断する。

選挙期日
決定！

丸亀市長・市議会議員選挙

令和3年4月18日(日)

4年前の選挙の投票率、ご存知ですか？

10代	28.17%	60代	71.02%
20代	30.49%	70代	76.11%
30代	40.89%	80代	61.68%
40代	47.75%	90代	34.90%
50代	60.54%	100代	19.23%

市民全体では54.89%でした。

ちなみに、平成21年の投票率は65.85%。

そう！どんどん低くなっているんです！

その一票
あなたの声が
市政を変える！



10代20代は
投票率が低いね

VRで
投票所を
のぞいて
みよう



「行く必要ある？」
「行っても変わらんやろ」
と考えていませんか？

例えば…



選挙に行かないと何が起きる？

丸亀市の投票率を見た市長や市議会議員が、50歳以上の方に喜ばれる政策ばかりを優先したら…？

退職後のサポートや高齢者支援に多くの税金を使い、子育て支援や学校施設の修繕、道路工事などの環境整備が大きく削られてしまったら…？

「自分の願いを叶えてくれそうな人を、自分で選ぶ」

選挙に行くって、そういうことなんです。

編集後記

12月議会を振り返ると、深く考えさせられるテーマがありました。「主権者教育」の大切さについてです。

日本では75年前まで、一部の条件をクリアした人しか選挙で投票をすることができませんでした。

「民主主義とは？」と問われたとき、皆さんはどう答えますか？

11月のアメリカ大統領選挙後も「アメリカの分断」は、大きな課題としてメディアで報じられています。それは世界に影響を与えるものです。

一方で、日本は？ 丸亀は？

「市長」も「議員」も、有権者の皆さんが選挙で選び、投票の結果で成り立つ行政の「リーダー」や「チェック機能」です。

昨年からコロナ禍で、皆さんの生活にも大きな影響があると存じますが、私たちが暮らす丸亀市も行政課題が山積しています。

主権者は市民の皆さんです。

令和3年4月は、丸亀市のいま、そしてこれからを考えて行動する「大事な時間」にしませんか？

広報広聴委員 武田 孝三